



健やかな成長を願って（6月30日 和戸 初山）

「初山」とは赤ちゃんの無病息災を願い、富士山山開きに合わせ「初山」の朱印を赤ちゃんの額に押ししていただくもの

6月定例議会

一般会計補正予算

- 便利バスの増額分885万円を削除 2
- 町政をただす 一般質問に12人が登壇 4
- 「共謀罪」の法制化に反対する意見書可決 17
- 第17回議会懇談会開催される 18
- 会津坂下町と鮫川村を視察 19
- こども議会のお知らせ、議案に対する議員の賛否 20

6月定例議会は、5月25日から6月6日まで13日間にわたって開かれました。町長から平成29年度一般会計補正予算など7件が提案されました。一般会計補正予算については修正動議が出され、修正案について審議しました。審議の結果、賛成多数で修正案を可決しました。その後、修正によって減額された部分を除く一般会計補正予算の原案については、賛否同数のため、議長の裁決により可（賛成）とし、可決されました。その他の6議案については原案どおり可決しました。また、議員提案の『共謀罪』（テロ等準備罪）の法制化に反対する意見書』は、賛成多数で可決しました。一般質問では、12人の議員が質問に立ち、町政をただしました。

委託料や安全問題を精査する必要あり

議員が修正動議 賛成7、反対5で可決

補正予算の提案理由

便利バスが走る事業については、運行管理にかかわる人件費などが当初予算編成時（1490万4千円）の見込みよりも増額となり、今年度の便利バス運行費用に不足（885万6千円）が生じたため補正するもの。その他、五差路歩道整備における用地購入など。

便利バスの委託料に質疑が集中

主な質疑

問 なぜ、885万6千円の増額になるのか。

答 平成28年1月15日に軽井沢町で発生したスキ

ーバス転落事故を契機として、国土交通省からバス運行事業者に対して運行管理体制についての強化・改善が求められ、その内容が具体的になったことから、運行管理体制及び人件費などについて改善を図るため増額とな

った。

問 増額の検証はされているのか。

答 その後の金額は過去の見積額や、改めて他業者からの見積を通じて適正であるということを確認している。

問 この間の経緯について、町は議会に対してどう説明してきたのか。

答 当初予算を議会に上程説明済みであることが



便利バスの増額分885

ら、追加の補正予算が必要
な状況となり、3月議
会中に説明を行った。

問 議会への説明が3月
17日。すでに総務文教委
員会において予算の採決
が行われた後であり、な
ぜ審議中に説明をしな
ったのか。そこが問題だ。

答 町としても、1月の
時点で精査ができてい
れば、間に合った部分も
あるので、大変申し訳な
く思っている。

問 軽井沢の事故で国土
交通省から総合的な対策
が平成28年6月3日に発
表されている。整備管理
者の増員は求められて
いないが、その検証は。

答 整備管理者の改善内
容の記述はないと思う。

問 運行管理者は平成29
年12月施行となっている。
それならば、平成29年4
月からの増額はおかしい
のでは。

答 運行管理者は、自動



車運送事業ごとに選任と
し、これまでの3人から
5人。便利バスの方は2
人になった。便利バスは
359日運行するので、
2人で見るという形で見
直しをした。

問 町民の立場からどう
考えているのか。

答 議会に対し、業者と
交渉中であるという報告
をすべきだった。業者と
の交渉の中で、金額より
も便利バスの運行を止め

ないということを最優先
に考えた結果である。

平成29年度一般会計
補正予算(修正案)

賛成7、反対5で可決

平成29年度一般会計補
正については、原案から
総務費のうち「便利バス
の委託料の増額分885
万6千円を削除し、総額
95億8268万円を95億

7382万4千円」と修
正するもの。

修正案に賛成討論

山下秋夫議員

町の説明が不十分。便
利バスの委託料の増額分
について、町から中田商
会との交渉内容が議会へ
報告があったのは、3月
議会の審議が終了し、採
決後である。これは議会
軽視と言わざるを得ない。
また、安全が第1なので、
修正案に賛成する。

平成29年度一般会計
補正予算(修正案の
部分を除いた原案)

賛成6、反対6で同数、
議長裁決で可とし、可決

既定の予算総額にそれ
ぞれ5982万4千円を
追加し、総額を95億73
82万4千円とするもの。

町政をたぐす

一般質問は5月29日、30日、6月1日の3日間おこなわれました。

12人の議員が登壇し、和戸横町の開発、便利バス、道路整備、浸水対策など46項目にわたり、町の考えをたがしました。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者が507字以内にまとめ、編集したものです。



本会議の様子

一般質問項目一覧（抽選順）

1. 唐沢 捷一 議員…………… P 5

- ① 榎本町長再選の出馬表明
- ② 副町長の役割
- ③ 町庁舎駐車場の現状

2. 野原 洋子 議員…………… P 6

- ① 北朝鮮のミサイルの危機に対する対策は
- ② 笠原地区の冠水対策の進ちょくは
- ③ 東武動物公園駅西口の東武鉄道所有地のイメージアップ

3. 丸藤 栄一 議員…………… P 7

- ① 第1期榎本町政の検証
- ② 国保の都道府県化で、宮代町の国保はどうなるのか
- ③ 県道蓮田杉戸線の拡幅整備
- ④ 組体操の指針

4. 伊草 弘之 議員…………… P 8

- ① 現在の町政は積極的に行政情報を公開しているか
- ② 協働によるまちづくりに必要な、市民参加の取り組み状況は

5. 丸山 妙子 議員…………… P 9

- ① 集会所のトイレなど水回りの改修は実情に合ったものにすべきではないか
- ② 民生委員・児童委員が不足している地域への補充を確実に
- ③ 雨の日の町立保育園の送迎時、送迎場所に配慮を

6. 角野 由紀子 議員…………… P10

- ① 防災対策
- ② 就学援助の入学前支給を可能にするための対応
- ③ 国納の山

7. 小河原 正 議員…………… P11

- ① 便利バス
- ② 笠原地域浸水対策
- ③ 和戸横町の開発
- ④ 新しい村

8. 関 弘秀 議員…………… P12

- ① 自殺対策
- ② 空き家対策
- ③ 道仏土地区画整理地内、また、周辺を含めた交通安全対策
- ④ 新橋通り線・五差路歩道設置の進ちょく状況

9. 中野 松夫 議員…………… P13

- ① 町長の真意は
- ② 和戸横町地区市街地整備プロジェクトチーム
- ③ 道仏土地区画整理事業の評価は
- ④ 近隣市との道路整備についての協議は

10. 石井 眞一 議員…………… P14

- ① 東武動物公園駅東口整備
- ② 歩車分離式信号の設置
- ③ 和戸横町地区企業誘致の進ちょく状況
- ④ 町内循環バスの運行ルートの見直し
- ⑤ 側溝に蓋かけを

11. 金子 正志 議員…………… P15

- ① 駅利用者
- ② 商店会
- ③ 小売業年間販売額、製造品出荷額の推移
- ④ 労働力人口、生産年齢人口
- ⑤ 合併の枠組み
- ⑥ 町の現状の告知
- ⑦ 住民投票を実施すると考えてよいか

12. 山下 秋夫 議員…………… P16

- ① 水道料金の値下げ
- ② 公民館の建屋・設備
- ③ 交通安全対策
- ④ 和戸駅ホームの屋根の延長

町庁舎、駐車場のスペースは大丈夫か

来庁者駐車(進修館含む)108台分確保



催し時は満車状態の駐車場



唐沢捷一 議員

問 町庁舎に自動車での来庁者が年々増加傾向にあるが、今後、駐車場スペースの確保は大丈夫か。

答 企画財政課長 役場庁舎駐車場は、公用車駐車を除き、来庁者の駐車は61台分確保している。

また、進修館駐車場は社会福祉協議会の駐車場を除き、47台分確保している。

今後とも来庁の際は、立地と利便性を最大限活用してもらおうようお願いしたい。

町長の再出馬について

問 町長は今秋10月の町長選挙に再出馬を表明した。

1期4年間の成果と課題をどう総括しているか。

答 町長 町長就任以来、5つの公約を掲げ、その実現に向けて全力で町政運営

に取り組み、一定の成果が挙げられたと考える。今後、みなさんの数多くの貴重な意見を活かしながら、「すみやすさナンバー1」の宮代町実現に向けて全力であたつていきたい。

副町長の役割について

問 副町長に就任して1年が過ぎ、この間、町政運営にどのような役割を果たしてきたか、率直な気持ちを聞きたい。

答 副町長 町長の基本政策実現に向けて、職員や町民のみなさんと一緒に取り組んできた。特に、都市基盤整備は県職員時代の知識と経験を活かして、町長を支えてきた。

北朝鮮のミサイルの危機に対する対策を

地域防災訓練などに周知していく



野原 洋子 議員

え、早急に対応していく。

笠原冠水対策は

問 笠原冠水対策の進ちょく状況は。

答 まちづくり建設課長

昨年度発注した浸水地域解消検討基本設計業務は、笠原2丁目内外41・3ヘクタールを対象とし、調査の結果から複数の対策案を立案した。短期計画では道路表面水のカット、ゲートの見直しなど、中期計画は道路の高上げ、長期計画は貯留施設などである。まずは短期計画を完了させ効果を検証し、中期計画以降の見直しをしていく。

西口のイメージアップ

問 東武動物公園駅西口のイメージアップについて

答 まちづくり建設課長

花作りやヤギによる除草を東武鉄道に申し入れた。引き続き町のイメージダウンにならない方法をお願いする。

弾道ミサイル落下時の行動について <small>別添2</small>	
<p>○ 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。</p> <p>○ ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。</p>	
<p>メッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとってください。</p>	
<p>【屋外にいる場合】</p> <p>○ <u>近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する。</u></p> <p>○ <u>近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。</u></p>	
<p>【屋内にいる場合】</p> <p>○ <u>できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。</u></p>	
<p>～ 行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください ～</p>	
<p><small>詳細については、国民保護ポータルサイト(http://www.kokuminhogo.go.jp/)をご覧ください。</small></p>	

Jアラートが鳴ったらどうするか、どこに避難するのか

問 ①北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練などは検討しているか。②町のミサイル防災マニュアルの作成は。

答 町民生活課長 ①現在、当町ではミサイルに特化した避難訓練の予定はないが、ミサイルへの対応方法は国民保護ポータルサイトに掲載の情報を広報やホームページ、地域防災訓練時などに広く周知していく。

②ミサイルに特化したマニュアルはないが、地域防災計画の職員配備体制に準じて状況に応じ活動体制を整えている。しかし、補足的な資料の整備は必要と考

えている。しかし、補足的な資料の整備は必要と考

国保の広域化にむけ、法定外繰入の実施を

納税者への影響などを考えながら検討する



自分自身の健康を守るためにも健康診断は大切です



丸藤 栄一 議員

問 国保の広域化に向けて2回目の埼玉県国民健康保険運営協議会が3月31日に開催された。

この会議では、国保運営方針の原案や標準保険税額の試算が示された。宮代町の試算結果の数値に対する見解を。

答 住民課長 1人当たりの保険税（12万7894円）も、県平均（13万5081円）を下回っているものの、増加率は県平均（40・5%増）より高く（48・81%増）なっており、引き続き非常に厳しい状況であると認識している。

問 国保の広域化によって宮代町の国保税は、さらに上がる可能性がある。宮代町としては財政運営の主体が県に移行した後も、法定

外繰入を実施していく考えは。

答 住民課長 都道府県化により急激な保険税の変化とならないよう、法定外繰入金の必要性を十分認識し、納税者への影響などを考えながら検討していきたい。

五差路歩道整備の進ちよくは

問 五差路の歩道整備については、今年度に用地を買収し、来年度は整備工事が行われる予定となっている。用地買収の進ちよく状況と、歩道整備の工事が始まった場合、東小学校の児童への影響は大丈夫か。

答 まちづくり建設課長 地権者との交渉は、契約の合意に向けて交渉を順調に進めている。児童への支障はない。

※国保の広域化とは2018年度から都道府県が国民健康保険の「保険者」となり、市町村の国保行政を統括・監督することです。

現町政は積極的に情報を公開しているか

町民に広く情報の公開と公表に努めている



伊草弘之 議員



町のホームページは見やすくなったというが、情報公開はどうか？

問 ①町ホームページを新しくした理由と、その効果について伺う。

②新ホームページでは、閲覧できた多くの情報が消えている。復活を求める。

③「小中学校適正配置の審議会」議事録も消えている。進行中の情報は、引き続き掲載すべき。

答 総務課長 ①理由は、高齢者や障がい者への配慮や、環境の変化に適應していくために再構築が必要と判断した。効果は、「みやささ」を追求したデザインに努めた結果、月2万件の閲覧増となった。

②「積極的な行政情報の公開」という原点に立ち返り、公開している内容を精査し、必要な情報は復活するように努めていく。

③進行中の事業や重要な政策に関する情報などは、再度精査し、必要に応じて公開していくように努めていく。

市民参加の取り組み

問 ①最近の市民参加の課題点と、今後のあり方は。

②まちづくり基本条例の検証は、どのような市民参加の手法を用いたか。

答 町民生活課長 ①地域コミュニティとのつながりが希薄となり、市民参加が少ない傾向にある。今後は市民参加計画に基づき、手法、取り組みを検討する必要がある。

答 企画財政課長 ②平成28年の検証は、住民意識調査、まちづくり基本条例アンケート調査を実施した。

集会所のトイレの改修は実情に合うものに

多くの集会所は入り口1つ男女共用が実態



丸山 妙子 議員



個人を尊重したプライバシーを保てるトイレの改修・整備が必要

問 ①集会所のトイレの現状。②改修の基準と打ち合わせはきめ細やかであるか。③女性の意見は反映されているか。

答 町民生活課長 ①男女別にトイレが分かれているのは37箇所中13箇所。集会所の多くは入り口が1つ、中で男女別など、男女共用が多いのが現状。

②基準はないが、集会所整備事業補助金交付要綱に基づきメニューがある。時代変化により必要になった改修とし、冷暖房器具の設置などに対し補助するもの、特に和式から洋式への変更を補助の対象。

③各地区への移管に伴い、管理運営については各地域の判断を尊重している。

民生委員・児童委員

問 ①委員の方々のご苦労は計り知れない。なり手がなく兼務している地域はあるか。②研修の内容、男女比・年齢は。

答 福祉課長 ①民生委員推薦会で改選事務を行い定数50、担当地区数50、主任児童委員3、現在欠員ゼロである。②内部研修、視察研修や県などの研修。男性15名で28%、女性38名で72%。40代から70代、全体平均は65・5歳。

町立保育園の雨の日対策

問 駐車場から園内に屋根などの設置で利用者に寄り添った迅速な取り組みを。

答 福祉課長 利用者への配慮の必要性は十分に認識、どのような進め方が効果的か慎重に検討し対応していきたい。

災害時の避難所、指定管理者との協定は

協定やマニュアルの作成について検討する



角野 由紀子 議員



防災訓練の様子〈須賀小学校・百間小学校にて〉

民館は44%（13基）、マンホールトイレは進修館四季の丘に3基設置してある。さらなる設置について検討していきたい。

問 建物の屋上に施設名を表記するヘリサインの検討を。例えば須賀小などに。

答 町民生活課長 近隣の設置状況など調査していく。

就学援助の前倒し支給を

問 就学援助の入学前支給を可能にするため、要綱や予算措置など確実に準備を進めるべきだが。

答 教育推進課長 入学前支給が望ましいことは、町も重く受け止めている。申請期間や所得状況が判明してから認定など相当な時間をかけ、課題を解決する必要がある。入学前支給が可能かどうか検討していく。

問 公共施設の避難所について、熊本地震では、指定管理者による運営は不可欠とのヒヤリング結果も出ている。避難所立ち上げや役割分担など明確にしておく必要があるが。

答 町民生活課長 指定管理者が管理する施設について、避難所運営のための協定やマニュアルの作成について検討していきたい。

問 避難所となるトイレの数は。洋式化は。マンホールトイレの設置はどうか。

答 町民生活課長 洋式化率、小学校は32%（73基）、中学校は25%（42基）、公

笠原地域の浸水対策を早急に実施を

9月補正で予算確保できるように検討する



豪雨が心配される笠原地域



小河原 正 議員

問 笠原地域浸水対策について、業務委託の調査結果の内容は。

答 まちづくり建設課長

浸水地域解消基本設計業務は、複数の対策案を立案した。

1つ目は「道路表面水のカット」。激しい雨が降った場合に雨水が道路表面を伝わって流れ込むことを防ぐため、グレーチング付横断側溝を8箇所設置する。概算事業費は300万円。

2つ目は「水門の見直し」。姫宮落し川の水位が上った場合に、フラップゲート¹を1基設置して逆流を防ぐ。概算事業費は600万円。

3つ目は「既設水路浚渫^{せうせつ}」。逆勾配となっている区間1kmの堆積土砂浚渫す

る。概算事業費は800万円。

4つ目は「既設排水路改修」。概算事業費は2億500万円。

5つ目は「貯留量約1万³mの調整池を設置。概算事業費は12億5500万円。

6つ目は「道路嵩上げ」。冠水を受ける道路を地盤高7mに嵩上げと影響を受ける宅地10軒の嵩上げ。概算事業費は3億3700万円。

7つ目は「吐口断面改修^{はげぐち}」。

8つ目の「既存のポンプ増強」は、埼玉県との協議。以上の対策案は、短期で概ね5年、中期で概ね20年とのことだが、短期は9月補正で予算確保できるように検討をしていく。

新たな生活道路は規制をかけない方針か

一時停止の規制について要望書を提出する



関 弘秀 議員



交差点にイメージハンプと停止誘導線があるがさらに一時停止の規制を

設置した。また、一時停止の規制について警察に要望書を提出した。その他の箇所についても、速やかに現地確認のうえ対応策を検討していきたい。

問 カーブミラー及び防犯灯設置の取り組みは。

答 町民生活課長 カーブミラーについては、隅切りが整備され、見通しが確保できていることから要望がなく、防犯灯は2件の要望に対応した。

問 字道佛646番地付近の交差点の安全対策は。

答 町民生活課長 現在、変則のクランク道路のような交差点で道路幅の狭い箇所幅員4.6メートルで歩道もなく、迂回路として交通量も増えており、「この先幅員狭し」などの注意喚起を検討する。

問 道仏土地区画整理地内及び周辺の交通安全対策の取り組み、進ちよく状況は。

答 町民生活課長 道路供用開始時における警察協議において、新たに設置される生活道路については、規制をかけない方針とのこと。規制看板が設置されていないことから、安全確保のため一部注意喚起看板を設置している。特に、都市計画道路宮代通り線と中島地内のヤンマーからくる通りとの交差点については、事故がたびたび発生していることから、交差点付近にイメージハンプと停止誘導線を

町道252号線延伸で春日部市との協議は

市の事業計画案検討の中で調整を図る



町道252号線から国道16号線までの延伸に期待



中野松夫 議員

問 北春日部駅西口周辺地区は都市基盤整備を行う可能性が高まったといわれる。この整備事業に合わせて、町道第252号線（姫宮駅西口）の国道16号までの延伸を進めることが必要と考えるが、春日部市との協議状況は。

答 まちづくり建設課長
春日部市では、北春日部駅西口周辺地区に、住居系の土地区画整理事業を計画している。昨年度、実態調査などを行っており、地元の機運も高まっていると聞いている。

町道第252号線の春日部市への延伸は、当町にとっても早期実現が望まれている路線である。昨年度に春日部市を訪問し、土地区画整理事業の中で、宮代へ

の延伸路線の検討をお願いした。今年4月下旬には現在の状況と今後の予定を伺っている。

春日部市は事業計画案の策定にあたり、近々、県との調整に入る。その中で当町への延伸路線についての検討も含まれることから、引き続き春日部市と調整を図っていく。

プロジェクトチームの役割は

問 役場に今年度4月発足した「和戸横町地区市街地整備プロジェクトチーム」の役割は。

答 副町長 農地除外のため協議など、関係機関との調整を円滑かつ迅速に行い、短期間で当該地の市街化区域への編入ができるようにすることである。

東武動物公園駅東口駅前広場の事業認可は

6月中に埼玉県へ認可申請 7月事業認可



石井 眞一 議員



早期の事業認可が待たれる東武動物公園駅東口駅前広場

反映させた事業計画を作成し、6月中に埼玉県へ申請できるよう調整を行っている。埼玉県による認可については申請から1か月程度の期間がかかると聞いている。

- 問** 東武動物公園駅東口整備について。①駅前広場区域内建物などの現地調査の進捗は。②事業認可に向けての今後のスケジュールは。③埼玉県・杉戸町との具体的な連携協議は。④国・県の補助金の交付見通しは。
- 答** まちづくり建設課長
- ①建物などの調査については、対象となる14人中11人の調査が完了。残りの3人については、引き続き調査を進めていく。調査結果については6月中を目的に取りまとめが完了する予定。
- ②物件などの調査結果を
- ③埼玉県とは、駅前広場の事業認可に向けたスケジュールなどの協議を進めている。事業認可後に事業が円滑に進められるよう、補助金の協議についてもあわせて進めている。杉戸町との協議では、平成26年度から事業費に対する協力について協議を進めてきたが、駅前広場の整備事業費に対して国庫補助金を除いた額の2割負担の協力をしていただける見込み。近々中に覚書を締結したい。
- ④東口駅前事業としては、7月中の事業認可後に内示額である約1000万円を充当し、用地買収を進めていく。

宮代町民に次ぐ、駅の利用状況は

3つの駅とも杉戸町住民の利用が多い



金子正志 議員



歩道のない、狭くて危険な駅前道路。東武動物公園駅東口

問 ①町内の駅の乗降客数は。

②町外で利用が多いのは。

答 企画財政課長 ①1日当たりの乗降客数は、東武動物公園駅のピークは平成元年の、4万1524人↓3万2160人（平成27年度）。

姫宮駅のピークは平成5年6871人↓5325人。和戸駅のピークは昭和60年8436人↓4127人。

②3つの駅とも杉戸町の町界に近接していることから、姫宮駅、東武動物公園駅、和戸駅とも杉戸町の方々の利用が多いと想定される。

問 町内の小売業年間販売額、製造品出荷額は。

答 産業観光課長 小売業年間販売額ピーク（平成6

年）171億円↓112億円。2千万円（平成26年）。

製造品出荷額（平成元年）159億円↓78億5千万円（平成26年）。

問 合併直接請求が行われた場合、すみやかに手続きをすすめる考えはあるか。

答 町長 合併対象市町村に対して議会に付議するか否かの意見照会をし、付議するとの回答が得られたら合併協議会設置の議案を議会に提出するなど、制度に則り手続きを進めていく。

問 枠組みを決めて直接請求があった場合、住民投票を実施すると考えてよいか。

答 企画財政課長 住民投票は、具体的な相手や合併後の市町村の姿を示し実施を検討する。

高すぎる水道料金の値下げを



山下秋夫 議員

新水道ビジョンの中で検討



高い水道料金は値下げを！

問 平成27年度単年度決算では1億9千万円の利益がある。

答 まちづくり建設課長
平成27年度は決算どおりである。

問 和戸公民館の雨漏りの修繕をするべきでは。

答 教育推進課長 原因を調査し、特定して工事を進める考えである。安全安心の観点から早急に対応する。

問 交通安全対策のため、宮代郵便局付近の歩道と、宮代台の側溝の蓋架けの整備を。

答 まちづくり建設課長
歩道整備は更地の時点で買収の予定。側溝の蓋架けは、側溝機能に支障がない状況である。

問 歩道整備に支障のない場所は県に要望すべきでは。

答 まちづくり建設課長
県土整備事務所に情報を伝える。

問 和戸駅の屋根の延長を。

答 企画財政課長 東武は各駅の安全改修を先行予定である。

問 公営企業は利益第一主義ではない。剰余金が12億6809万円も積立予定となっており、水道料金は下げるべき。

答 まちづくり建設課長
今後40年間で約61億円の設備投資が必要で、新水道ビジョンの中で財政計画を見直す。黒字額が多いのは、口径別分担金収納が多いためである。

問 営業収益性で県内では、2位である。結果として、収益性と水道料金が高い。

答 まちづくり建設課長
今後、黒字額は減少してくる。

意見書

賛成 8、反対 4 で可決し、政府へ

安倍内閣総理大臣や金田法務大臣などへ送りました

「共謀罪」(テロ等準備罪)の法制化に反対する意見書 (抜粋)

安倍政権が、いま、通常国会で共謀罪(いわゆるテロ等準備罪)法案を成立させようとしていることは、きわめて重大であります。

共謀罪は、国民の思想や内心を処罰の対象とする違憲立法であります。「テロ対策」の名で国民をあざむき、国民の思想や内心まで取り締まろうという共謀罪は、モノ言えぬ監視社会をつくり、安倍政権がすすめる「戦争する国」づくりの一環であり、現代版「治安維持法」というべき悪法にほかなりません。

以上の趣旨から政府に対し、下記事項の実施を強く求めます。

1. 「共謀罪」(テロ等準備罪)は法制化しないこと。



反対討論

角野由紀子議員

テロ等準備罪を新設する理由は、テロなどの組織的犯罪を未然に防ぐためである。そのために国際社会との連携が必要。組織犯罪処罰法は、T O C 条約締結に必要な国内法整備である。

賛成討論

野原 洋子議員

共謀罪が新設されれば、将来的に捜査当局による強制捜査、盗聴をはじめとした捜査権の乱用や人権侵害が頻発するのではと危惧する声が上がっている。

賛成討論

小河原 正義議員

共謀罪は一般の人が調査の対象。異議を持つ市民が相談しただけでもつぶせるような監視社会をつくらうとしている。世論調査では政府の説明が不十分だと国民の多数が示している。

賛成討論

唐沢 捷一議員

多くの学者、文化人、宗教人、放送関係者等々が反対。時計の針を戦前に巻き戻すことがないように、ましてや気がついたときは時すでに遅かった、ということがないように反対する。

賛成討論

丸山 妙子議員

国民の多くが法案の内容を十分に知らされていない。たかさんの意見を法学者が言っているが、強行採決は絶対許せない。

市・町の共同事業

一部事務組合の平成29年度予算

久喜宮代衛生組合

36億2000万円

(前年度比7.7%増)

▼構成 久喜市、宮代町の1市1町

▼主な収入 負担金 29億3286万円

(宮代町は4億7780万円)

▼主な支出

塵芥処理費 23億6959万円

(うち委託料 17億3296万円)

広域利根畜場組合

2億5107万円

(前年度比2.3%増)

▼構成 加須市、久喜市、幸手市、宮代町の3市1町

▼主な収入 負担金 1億1000万円

(宮代町は881万円)

施設使用料1億534万円

▼主な支出 委託料(施設管理等) 9296万円

需用費(燃料費等) 4488万円

埼玉東部消防組合

64億1793万円

(前年度比4.6%減)

▼構成 加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町の4市2町

▼主な収入 負担金 63億3537万円

(宮代町は4億7943万円)

▼主な支出 常備消防費 59億63万円

常備消防施設費 2億4255万円



第17回議会懇談会

参加者は25人

5月13日(土)、図書館ホールで「第17回町民と議員との議会懇談会」を開催しました。総務文教委員会と福祉産業委員会の両委員長から予算審議の内容を報告しました。その後、住民の皆さんと議員により、熱心な意見交換が行われました。町に対する質問は、町から回答を得ました。

議会への 意見・要望（抜粋）

- Q** 議会の傍聴資料は、回収しない市もある。委員会資料は傍聴しないと、存在すら分からない。傍聴の受付簿は見直されたが、年齢を記載するのは、宮代町だけである。
- A** 傍聴資料の配布については、委員会資料のように量が多いものをどうするかなどを精査し解決していく。年齢の記載については、検討する。
- Q** 新しい村は町直営になったが、議会から指定管理者として否定された会社が続く。議会はチェック機能を果たしていない。
- A** 事業結果は、今後議会に報告があるので、それを受けて判断していきたい。
- 予算は本来どのくらい必要か。歳出を抑える努力が必要で、その成果について報告してもらいたい。
- 日本工業大学の学生に住民登録してもらいたい町民に。

歳入の確保を意識して。
■ 町は、和戸駅西口の開発はできないと言っているが、分かりやすい説明を。

町への意見・要望 町からの見解（抜粋）

- Q** 便利バスは、11時台と12時台のバスがない。なぜ増便できないのか。
- A** 運転手の休息時間などや安全上の観点から空白の時間帯がある。平成30年4月からの改正に合わせ利便性の向上を図っていく。
- Q** 東武動物公園駅東口開発の具体的な方針は。
- A** 今年度中に事業認可を取得し、用地買収に入る予定である。事業は補助金に合わせ進めていく。
- Q** 和戸横町は、どのような開発を進めていくのか。
- A** 平成26年度に地元の産業団地誘致協議会から陳情書を受けて、検討してきた。土地区画整理事業として、県と調整している。
- Q** 笠原2丁目、豪雨で床下まで浸水した。抜本的な対策をお願いしたい。

A 被害解消を目指し調査を実施した。水路浚渫は早期に実施していきたい。

Q 和戸駅西側の盛土の撤去はどのようにするか。

A 残土は原因者が撤去することが原則であるが、土地所有者が亡くなっており相続をしていないことから現実的に難しい。県などからアドバイス受け、解決に向けた糸口を探っていく。

Q 第1中継ポンプ場から姫宮交差点までの整備は。

A 平成30年度の完成を目指している。

アンケート（抜粋）

- 議会懇談会の感想**
- 活発な意見が出ている。
- このような会を開催し、町民の声を聞くことはすばらしい。
- 議会報告は長すぎる。
- 時間が足りない。
- 参加した町民も、町を良くしたいという思いが伝わる。
- 参加者が多かったのは良いが、議員の勉強不足が目立つ。

今後の形式・内容・テーマ

- 現行通りで良い。
- 質問、意見など事前に提出し、時間の効率化を。
- 小中学校の統廃合。
- 質問、回答とも、要点をまとめて進行して。
- 議会に対するご意見**
- 機能、責任を全うして。
- 開かれた議会として、今後も続けてください。
- 新しい村は、議員の間で問題にして頂きたい。
- 懇談会は継続してもらいたい。期待している。



先進地視察報告

6月21日 議会運営委員会



あいづばんげ 福島県会津坂下町議会

会津坂下町は会津盆地の西部に位置し、町の東部平坦地は豊かな水資源に恵まれた肥沃な土地を形成しており、会津盆地穀倉地帯の一部として、コシヒカリの銘柄米の産地となっている。

会津坂下町議会は、①全議員参加のもと予算特別委員会を設置して審議をしている。②「町民に開かれた議会を推進するために」ということで、一般質問を録画配信している。③昨年、7地区で開催した「町民・議会懇談会」に寄せられた意見や要望をとりまとめ、提言書にして町長へ提出している。

主な質問項目は、予算・決算特別委員会の設置について

- ①予算は議員全員、決算は議会選出の監査委員を除く議員で構成している。
- ②執行部の出席者は、3役、会計管理者、各課長、代表監査委員、説明補助員（財政担当職員、特別会計担当職員〔発言はしない〕）。
- ③質疑に対する答弁者は、町長、副町長、教育長、会計管理者、各課長。
*主に担当課長が答弁する。所管する事業、また質問者の指名によって振り分ける。
- ④予算審議に必要な資料は、現在議案の参加資料として添付しているもので充足している。
- ⑤町内視察は、常任委員会ごとに現地調査を行っている。
- ⑥本会議における委員長報告は、議会事務局が作成し、委員長の意見は口述の中に加え、説明時間は約5分程度である。

宮代議会は研修で得た成果を生かすよう取り組んでいきたい。

6月22日 広報委員会



さめがわ 福島県鮫川村議会

鮫川村は福島県いわき市の西に位置し、広さは宮代町の約8倍、農業、畜産が基盤という。

鮫川村の議会だよりは、昨年の町村議会広報紙全国コンクールにおいて、「企画・構成」部門で奨励賞を受賞している。住民による議会モニターを公募し、1年間意見を聞いて議会運営に役立てている。

◆印刷業者との契約／議会だよりは以前は事務局が作成していたが、2年間休刊。現在は議員がすべての編集を行っている。村内に印刷業者はない。業者が原稿の打ち合わせに役場に来ることはなく、文章も写真もすべてデータでやり取りする。データが多いから30通ほどメールで送る。

◆議会モニター／モニターは、平成28年度は6人、今年度は5人。今後継続するかは検討中。

議会に対する住民アンケートを実施。1,100通配布し、約800通回収する。良い評価は1割、厳しい意見が8割。

「議員に何を言っても政策につながらない」

「執行部は質問に答えていない」

「つまらない質問を取り上げる必要があるのか」

「再質問、答弁が長すぎる」（結論は最後のみ）

◆編集方針／読んでもらえることが大切。一方的に報告するだけではダメだ。

村から出て行った人に、ふるさと鮫川の思い出と現在の活動のようすを聞き、紙面に登場させている。村民も楽しみにしている。

子ども議会は4年目。子ども議員全員の意見を掲載している。

村民の顔写真が名前入りで17人も載っている。次号が待ち遠しくなる「楽しい紙面づくり」に、学ぶことの多い、充実した視察であった。



議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 - 議長は採決に加わらない

議案番号	議案・主要内容	議決結果	政策	会	議	新	日	公	み	無	議	
			み	石	金	政	本	明	や	会	議	
			や	井	子	代	共	党	し	派	長	
			ろ	真	正	2	産	2	ろ	1	合	
			3	一	志	人	党	人	2	人	川	
			人						人		泰	
			小						唐	野	治	
			河						沢	原		
			原						捷	子		
			正						一	妙		
			正						秀	子		
25	専決処分の承認を求める…地方税法及び航空燃料譲与税法の一部を改正する法律が平成29年3月31日に公布されたものに伴い、緊急に税条例を改正する必要が生じたため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
26	専決処分の承認を求める…地方税法及び航空燃料譲与税法の一部を改正する法律が平成29年3月31日に公布されたものに伴い、緊急に都市計画税条例を改正する必要が生じたため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
27	専決処分の承認を求める…地方税法施行令の一部を改正する法律が平成29年3月31日に公布されたものに伴い、緊急に国民健康保険税条例を改正する必要が生じたため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
28	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例…人事院規則の一部改正に伴い、職員の育児休業等に関する条例の一部を改正したいため。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
29	平成29年度一般会計補正予算(第1号)原案…6,868万円を追加し、総額を95億8,268万円とする。											
	修正案…原案から便利バスの委託料の増額分885万6,000円を削除する。	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●
	修正案の部分を除いた原案…5,982万4,000円を追加し、総額を95億7,382万4,000円とする。	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
			賛否同数となったため、合川議長が「可(賛成)」と採決									
30	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)…前期高齢者納付金等の決定及び高額療養費算定に係るシステム改修の実施に伴い、本年度国民健康保険特別会計予算に286万8,000円を追加し、総額を48億3,186万8,000円とする。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
31	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号)…国の高齢者施設等の防犯対策強化事業の実施に伴い、本年度介護保険特別会計予算に198万4,000円を追加し、総額を27億3,720万5,000円とする。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
32	「共謀罪」(テロ等準備罪)の法制化に反対する意見書 P17参照	可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-

2017年(平成29年)8月1日発行

発行/宮代町議会・議会広報委員会 0480(34)1111
住所/埼玉県南埼玉郡宮代町笠原 1-4-1
発行責任者/議長 合川泰治

無関心や無知であるより少しでも時間があれば議会を傍聴し、私たちが町や議員をしつかり監視した方が、より良いまちになるのではないのでしょうか。

最終日、町議会では「共謀罪」(テロ等準備罪)の法制化に反対する意見書が提出され、賛成8、反対4で可決しました。

その後、6月15日には残念ながら国



島村邦夫さん (山崎地区)

議会を傍聴して

町政や議会についてのご意見や感想などを寄稿していただきました。

引き続き、良識の府として、議員のみなさんに頑張ってもらえるよう期待しています。

島村様、いつも傍聴していただきありがとうございます。しっかりと町を見つけてくれる町民の皆さんと共に議会の機能を果たしてまいります。

(広報委員会)

議会を傍聴しませんか

次回は8月24日(木)
午前10時開会予定です。
(進修館 小ホール)

こども議会が開催されます

8月26日(土)
午後1時20分開会
子どもたちの声を町政に!
(進修館 小ホール)

編集後記

議会が終わると編集委員会が始まる。5人の委員で担当を決め、それぞれが原稿をまとめる。内容のチェック、より見やすいレイアウトなどを全員で意見を出し合う。

町民の方々、印刷業者、議会事務局とも協力し、より読みやすい紙面づくりに向かう。町を思う、みんなの心のこもった紙面をお届けします。

(金子)